

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	911.39	2022/9/19
High	939.32	2022/9/21
Low	858.24	2022/9/23
Close	858.35	2022/9/23

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4190.00	2022/9/19
High	4352.00	2022/9/21
Low	3955.00	2022/9/23
Close	3959.00	2022/9/23

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2138.00	2022/9/19
High	2238.00	2022/9/20
Low	2065.00	2022/9/19
Close	2072.00	2022/9/23

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9829.00	2022/9/19
High	10304.00	2022/9/20
Low	9519.00	2022/9/23
Close	9547.00	2022/9/23



ニュースエクスプレス

プラチナ地金の需要、北米で今年過去最高に

ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンシルプラチナ(WPIC)によると、地金インゴットとコインの需要は、インフレ懸念を背景に投資家の強い現物資産への興味を反映して、今年は北米で過去最高の9.1トンとなる見込み。現時点で2022 アメリカン・イーグルプラチナ地金1 オンスコインの販売高は過去最高2番目となる 2.5トン。

プラチナ地金商品にはインゴットとコインがあり、どちらも 99.95% の純プラチナ製であることが保証されている。投資家が直接かつ手軽に投資ポートフォリオにプラチナを加えることができ、また商品の出所と品質に関しても安全・安心が保証されている。

プラチナインゴットは国際的認定期間であるロンドン・プラチナ・パラジウム市場 (LPPM)の定める厳しい「グッド・デリバリー」基準を満たす精錬所で作られ、その発行は米造幣局や英王立造幣局など国の造幣局が担うことが多い。プラチナ地金商品はまた、他の商品と比べても流動性が高い。売買は簡単で、価格は商品の純度と、有力スポット市場のプラチナ価格に製造コストとサプライヤーの粗利が加えられて決められる。米国のように地域によっては、プラチナ地金商品を老後の資金計画の一部として保有できるなど、優遇税措置が受けられる場合もあり、有利な条件は地域、または個人投資家や信託にかかる税制によって異なる。

[https://www.miningweekly.com/article/north-american-demand-for-platinum-bullion-set-to-reach-new-high-2022-09-22/rep\\_id:3650](https://www.miningweekly.com/article/north-american-demand-for-platinum-bullion-set-to-reach-new-high-2022-09-22/rep_id:3650)

欧州の新たな「水素銀行」で、プラチナ価格、5週間ぶりの高値

エネルギー危機を受けて欧州各国政府が新たなエネルギー源を模索している中で、水素の需要が大きく増える可能性が出てきており、プラチナ価格が5週間ぶりの高値をつけている。

先週、欧州連合が新たに「水素銀行」を設立し、将来の水素の需給を支える後押しをすと発表したことで、投資家らの関心がプラチナに集まり価格を押し上げている。プラチナ先物10月物は918.40 ドル/オンスで取引され、1日で2%も上昇した。

ウルズラ・フォン・デア・ライエン欧州委員長は声明の中で、水素銀行は30億ユーロ（約4285億円）を域内の水素市場に投資する計画であることを明らかにした。

「欧州にとって、水素はエネルギー供給の現状を大きく変えるきっかけとなる可能性があり、我々は水素経済をニッチなものからメジャーなものに変えていく必要がある。」とフォン・デア・ライエン欧州委員長は9月14日の記者会見で語った。

「そのためには水素への投資を増やし、今後の需給を支える市場を作り出さなければならぬ。」

<https://www.kitco.com/news/2022-09-19/Platinum-at-a-five-week-high-as-markets-continue-to-digest-the-new-European-Hydrogen-Bank.html>

堂島取引所「貴金属市場」認可申請、金・銀・白金の先物3商品、2023年3月開設か

(株)堂島取引所(村田雅志社長)は9月16日、農林水産大臣・経済産業大臣に「貴金属市場」開設の認可申請を行った。

認可を得られれば2023年3月27日の市場開設を予定している。取引要綱によると、取扱は金・銀・白金(プラチナ)の先物3商品。

既に村田社長は今年6月末の記者懇談会で「貴金属市場の創設」を表明しており、休眠状態に近い農産物市場についても「放ってはおかない。その先にコモ先物の再開がある。農水省と協力して何ができるか考えたい」としている。

<https://www.ssnpc.co.jp/rice/487673/>

WPICレポート 白金リースレート高止まり

南アフリカの主要な白金生産団体ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) がこのほど発表した最新の四半期レポートによれば、現物を借りる際に支払うリースレートが高止まりしているという。4-6月期の白金は11トンの供給過剰だった。ただ、需給データに反映されない中国の輸入により、実際の現物市場はひっ迫した。ピークの5月は10%を付けるなど、過去10年平均を大きく上回り推移する。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/58df3d9a62cb50288578905ca3ed1656a74d34cb>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

➤ インゴットとコインなどプラチナ地金商品の需要、2022年は北米で過去最高。詳しくはプラチナ豆知識「インゴットとコイン」(2022年9月22日)をご覧ください。<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/09/22>



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。